

**第3回 家族についての全国調査
(NFRJ08)**

第一次報告書

2010年4月

日本家族社会学会 全国家族調査委員会

目次

まえがき	3
I 調査のねらいとデザイン	5
1 「第3回家族についての全国調査(NFRJ08)」の意義と課題	7
2 調査票の構造	13
3 サンプルングとデータの基本特性	21
II 調査結果の概要	31
4 対象者の基本特性と世帯の情報	33
5 離家と就業	49
6 家族キャリア	61
7 夫婦関係	79
8 家族に関する意識	89
9 健康状態	95
10 子との関係	103
11 妊娠・出産と就業	137
12 親との関係	143
13 きょうだいとの関係	161
14 義親との関係	181
15 援助ネットワーク	193
III 資料編	211
16 データクリーニングの概況	213
個人情報保護関連	
若年者用調査票	
壮年者用調査票	
高年者用調査票	
訪問記録票・欠票調査票	

執筆分担者一覧

まえがき（嶋崎尚子）

I 調査のねらいとデザイン

- 1 「第3回家族についての全国調査（NFRJ08）」の意義と課題（稲葉昭英）
- 2 調査票の構造（嶋崎尚子・田中慶子）
- 3 サンプルングとデータの基本特性（田中重人）

II 調査結果の概要

- 4 対象者の基本特性と世帯の情報（永井暁子）
- 5 離家と就業（鈴木富美子・西野理子）
- 6 家族キャリア（澤口恵一・品田知美）
- 7 夫婦関係（土倉玲子）
- 8 家族に関する意識（島直子）
- 9 健康状態（西村純子）
- 10 子との関係（田淵六郎・筒井淳也・松信ひろみ）
- 11 妊娠・出産と就業（福田亘孝）
- 12 親との関係（金貞任）
- 13 きょうだいとの関係（保田時男）
- 14 義親との関係（施利平）
- 15 援助ネットワーク（井田瑞江）

III 資料編

- 16 データクリーニングの概況（松田茂樹）

Ⅲ 資料編

16 データクリーニングの概況

16.1 クリーニング班体制と役割

NFRJ08 データクリーニング（以下「クリーニング」）は、以下の体制で実施した。

代表	松田茂樹	統括、作業方針決定、原票チェック、データ修正
メンバー	西村純子	問 1～問 7 のデータチェック（問番号は壮年票を基準とした）
	筒井淳也	問 8～問 15 のデータチェック
	鈴木富美子	問 16 以降のデータチェック
	井田瑞江	自由回答のアフターコーディング
アルバイト	橋口聡、今村和哉	

16.2 クリーニング期間

中央調査社におけるクリーニング ～2009年7月

クリーニング班におけるクリーニング 2009年8～11月

クリーニングデータ完成 2009年12月

16.3 作業内容

（1）クリーニング仕様書の作成

NFRJ03 のクリーニング仕様書を参考に、想定される全ての「エラー」（論理矛盾で必ず修正する必要がある箇所）を記載した NFRJ08 のクリーニング仕様書（別紙参照）を作成した。この仕様書をもとに、中央調査社がクリーニングを実施した。

なお、NFRJ03 のクリーニング仕様書には、エラー以外に「要チェック」（通常は発生しにくい値。原票の入力ミスでないことを確認）という項目を設けている。しかし、中央調査社では修正方針が決定しない要チェックの修正は行うことができないという事情を考慮し、NFRJ08 では「エラー」のみを仕様書に記載して、中央調査社にクリーニングを依頼した。

（2）中央調査社におけるクリーニング

クリーニング仕様書に基づいて、中央調査社がクリーニングを実施した。

このクリーニングを経たデータは、「nfrj08_20090717.sav」という名前で NFRJ08 実行委員会に配布された。

(3) クリーニング班におけるクリーニング

中央調査社がクリーニングしたデータを、クリーニング班においてさらにクリーニングを実施した。作業は以下のステップで実施した。

1) 修正すべき箇所の抽出

クリーニング班メンバーが、①クリーニング仕様書の修正が完了していることの確認、②要チェック（定義は前記参照）の箇所の抽出、③それ以外に修正すべき箇所、をチェックし、報告した（別紙参照）。

2) 自由回答の処理

自由回答のアフターコーディングの方針を作成した。

3) 原票チェックと修正方針決定

クリーニング班メンバーの報告書をふまえて、原票をチェックし、修正方針を決めた。同報告書にない箇所も原票でチェックし、必要な修正箇所を決定した。修正方針は、「データ修正箇所一覧」参照。

4) データの修正

修正方針にもとづいてデータを修正した（データ修正箇所一覧）。このデータには、「支局」「地点」「対象」を組み合わせた 8 桁の ID 番号を振っている。その後、修正方針どおりにデータが修正されていることのチェックを行った。

16.4 主なエラー箇所

- (1) 現在親と別居しているが、1年以上親と離れて別の世帯で暮らした経験（若年票・問 4）がないと回答している。
- (2) 高年票において、中学生以下のときのアルバイトを、初職として回答している。
- (3) 子どもの出生順位（壮年票・問 13）を誤って記入しているケースが多い。生年にもとづいて回答を出生順位別に修正した。
- (4) 子どもがいるのに、若年票・問 7 付問 18 カ「子どもと遊ぶこと」において「子どもはいない」と回答した者が多い。
- (5) 妊娠・出産をきっかけとした仕事の変化（壮年票・問 13 付問 3）について、仕事についていたことはない人が「仕事をやめた」と回答している点を修正。
- (6) 本人（または配偶者）の年齢と父母（または義母）の年齢の回答の組み合わせをみると、父母（または義母）が法律で結婚できる年齢よりも早い子（例：母親が 11

歳のときに産まれた子など) になっている点を修正。

- (7) 世帯内に収入がある可能性のある者が本人と配偶者のみであるのに、両者の収入を足し合わせても世帯年収(壮年票・問 18)の金額と大きな乖離がある箇所を修正。世帯年収の選択肢を右側に間違えて回答したとみられるサンプルもある。

16.5 自由回答のアフターコーディング

NFRJ03の資料にもとづいて、住まい、学歴、職種、同居家族などのアフターコーディングを実施した。

アフターコーディングの結果は、「自由回答アフターコーディング結果」参照。

以下の変数は、新規変数または新規選択肢を作成した。

- 1年以上親と離れて別の世帯で暮らした理由(若年票・問 4付問 2):「7. 自立(住宅購入を含む)」「8. 通勤の都合」
- 住宅(壮年票・問 19):「7. 親族名義の一戸建て」「8. 親族名義の集合住宅」
- 同居者(壮年票・問 20付問 1):「20. 兄弟姉妹の配偶者」

16.6 次回調査におけるクリーニング作業及び調査票作成への示唆

- (1) 今回、クリーニング班全体で分担して作業を行ったものの、依然として原票をチェックしデータを修正する者に負荷が集中している。特定個人への作業負荷を軽減させる工夫が必要。
- (2) 今回、原票チェックをサポートするアルバイトの費用は、嶋崎委員長、永井事務局長個人の研究費から捻出した。次回は、NFRJの予算から支出するようにすべきである。
- (3) 壮年票・問 13の形式の質問では、子どもの出生順に回答することを回答者にわかりやすく説明する工夫が必要。
- (4) 世帯年収は、選択肢の形式で誤回答が発生している可能性があるため、これを防ぐ形式にすること。
- (5) 次回調査では、自由回答のアフターコーディングで新設した変数・選択肢をあらかじめ組み入れておくこと。

(松田茂樹)

データの修正箇所一覧

調査票	ID	データ上の変数名	修正前値	修正後値	備考
高年		R13S1LC1_01	2	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_01	1	2	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_01	2	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_02A	44	46	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC1_02A	26	28	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC1_02A	27	30	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC1_02A	28	29	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_02A	41	43	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_02A	43	44	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_02A	34	39	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_02A	34	38	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_02A	52	9999	夫婦とも初婚であり、かつ11歳時の出産になってしまうため
高年		R13S1LC1_02A	57	9999	夫婦とも初婚であり、かつ結婚年よりかなり以前であるため
高年		R13S1LC1_02Y	39	37	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC1_02Y	57	55	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC1_02Y	56	53	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC1_02Y	55	54	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_02Y	42	40	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_02Y	40	39	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_02Y	49	44	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_02Y	49	45	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_02Y	31	9999	夫婦とも初婚であり、かつ11歳時の出産になってしまうため
高年		R13S1LC1_02Y	26	9999	夫婦とも初婚であり、かつ結婚年よりかなり以前であるため
壮年		R13S1LC1_03	2	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_03	1	2	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC1_03	2	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_01	1	2	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_01	2	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_01	1	2	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_02A	46	44	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC2_02A	28	26	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC2_02A	30	27	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC2_02A	29	28	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_02A	43	41	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_02A	44	43	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_02A	39	34	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_02A	38	34	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_02A	50	9999	結婚前14歳での子どもになってしまうため
高年		R13S1LC2_02A	48	9999	夫婦とも初婚であり、かつ第2子が15歳時の出産になってしまうため
高年		R13S1LC2_02A	54	9999	夫婦とも初婚であり、かつ結婚年よりかなり以前であるため
高年		R13S1LC2_02Y	37	39	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC2_02Y	55	57	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC2_02Y	53	56	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S1LC2_02Y	54	55	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_02Y	40	42	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_02Y	39	40	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_02Y	44	49	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_02Y	45	49	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_02Y	33	9999	結婚前14歳での子どもになってしまうため
高年		R13S1LC2_02Y	35	9999	夫婦とも初婚であり、かつ第2子が15歳時の出産になってしまうため
高年		R13S1LC2_02Y	29	9999	夫婦とも初婚であり、かつ結婚年よりかなり以前であるため
壮年		R13S1LC2_03	1	2	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_03	2	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S1LC2_03	1	2	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
若年		R13S1LC2_03	2	1	第2子3歳で、Q13-2の回答も第1子とかわらず、また家族4人で住んでいると回答しているため、同居とする。
若年		R13S1LC2_03	2	1	Q13回答と同居人数より判断
若年		R13S1LC2_03	2	1	Q13回答と同居人数より判断
若年		R13S1LC2_03	2	1	同居人数とほぼ毎日夕食を一緒に食べていることから
壮年		R13S2LC1_01	3	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S2LC1_01	3	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S2LC1_01	1	3	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S2LC1_01	1	3	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S2LC1_02	6	7	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S2LC1_02	5	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S2LC1_02	1	3	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S2LC1_02	1	6	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S2LC1_02	6	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S2LC1_03	4	3	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S2LC1_03	4	3	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S2LC1_03	5	4	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S2LC1_03	2	4	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S2LC1_03	6	3	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S2LC1_04_1	0	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
壮年		R13S2LC1_04_1	0	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。
高年		R13S2LC1_04_1	0	1	出生年が第1子の方が遅いため、1子と2子を逆に。

データの修正箇所一覧

調査票	ID	データ上の変数名	修正前値	修正後値	備考
壮年		R14M_02	8	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14M_03	1	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14M_03A	8888	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14M_03G	8888	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14M_03Y	8888	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_01	2	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_02	1	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_03	6	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_04	3	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_05	2	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_06	2	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_07	2	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_08	2	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_09	1	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_10	1	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_11	1	9999	義母=養母である。義母のみを残す
壮年		R14S1M_12	1	9999	義母=養母である。義母のみを残す
高年		R15RLOB	4	9999	年上の兄弟の数と付間1の兄弟数が合わない
高年		R15RLOS	4	9999	父母不明⇒終戦後、施設で育った可能性あり。ただし、不明。
高年		R15RLYB	4	9999	同上
高年		R15RLYS	5	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_01	1	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_02A	73	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_02G	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_02Y	10	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_03	7	9999	同上
壮年		R15S1RLBS1_03	1	9999	兄弟3人が同じ建物に住んでおり、本人とは別居
高年		R15S1RLBS1_04	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_05	4	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_06	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_07	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_08	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_09	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_10	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_11	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_12	1	9999	同上
高年		R15S1RLBS1_13	1	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_01	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_02A	70	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_02G	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_02Y	13	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_03	7	9999	同上
壮年		R15S1RLBS2_03	1	9999	兄弟3人が同じ建物に住んでおり、本人とは別居
高年		R15S1RLBS2_04	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_05	4	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_06	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_07	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_08	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_09	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_10	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_11	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_12	1	9999	同上
高年		R15S1RLBS2_13	1	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_01	1	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_02A	60	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_02G	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_02Y	23	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_03	7	9999	同上
壮年		R15S1RLBS3_03	1	9999	兄弟3人が同じ建物に住んでおり、本人とは別居
高年		R15S1RLBS3_04	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_05	5	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_06	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_07	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_08	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_09	3	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_10	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_11	2	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_12	1	9999	同上
高年		R15S1RLBS3_13	1	9999	同上
壮年		R16SF_01G	3	9999	大正から昭和につけかえられているので、本人の父母が大正10年生まれなので、それより10歳若い(大正20年⇒昭和7年)ということ?
壮年		R16SF_01G	3	9999	義父母のどちらかが再婚としても若すぎる。
壮年		R16SF_01G	3	9999	義父母のどちらかが再婚としても若すぎる。
壮年		R16SF_01G	3	9999	配偶者が、義父15歳、義母11歳のときの子になるため
壮年		R16SF_01Y	20	9999	対象から昭和につけかえられているので、本人の父母が大正10年生まれなので、それより10歳若い(大正20年⇒昭和7年)ということ?

データの修正箇所一覧

調査票	ID	データ上の変数名	修正前値	修正後値	備考
壮年		R16SF_01Y	24	9999	義父母のどちらかが再婚としても若すぎる。
壮年		R16SF_01Y	20	9999	義父母のどちらかが再婚としても若すぎる。
壮年		R16SF_01Y	7	9999	配偶者が、義父15歳、義母11歳のときの子になるため
壮年		R16SM_01A	70	9999	配偶者が、義父15歳、義母11歳のときの子になるため
壮年		R16SM_01Y	20	9999	対象から昭和につけかえられているので、本人の父母が大正10年生まれなので、それより10歳若い(大正20年⇒昭和7年)ということ？
壮年		R16SM_01Y	29	9999	義父母のどちらかが再婚としても若すぎる。
壮年		R16SM_01Y	22	9999	義父母のどちらかが再婚としても若すぎる。
壮年		R16SM_01Y	13	9999	配偶者が、義父15歳、義母11歳のときの子になるため
高年		R18	10	9999	夫、妻の収入と世帯収入の差が大きすぎる(以下同)。夫、妻とも100万円未満。義母が収入不明だがそれほど考えると考えにくい。収入の欄を右に書き間違えが可能性あり(以下いくつかのケースが同じ傾向)
若年		R18	18	9999	夫+妻の年収が900万円程度にしかない。
高年		R18	17	9999	夫+妻で400-500万円。400万円を1400満円と間違えた可能性。
高年		R18	18	9999	夫+妻で700万円未満。500万円を1500満円と間違えたか。
高年		R18	15	9999	夫+妻で2700万円台。200万円を1200満円の間違いでは。
若年		R18	19	9999	本人収入(400万円未満)のはずであるためおかしい。非同居親族の収入を合計してしまったか。
若年		R18	15	9999	夫+妻で500-700万円未満。選択肢を右に間違えた可能性。
壮年		R18	9	9999	夫+妻とも100万円未満。選択肢を右に間違えた可能性。
高年		R18	5	9999	本人収入(400万円未満)のはずであるためおかしい。非同居親族の子どもを含めた可能性。
高年		R18	19	9999	夫+妻で800-1000万円未満。選択肢を右に間違えた可能性。
高年		R18	18	9999	夫+妻で400-500万円未満。選択肢を右に間違えた可能性。
高年		R18	14	9999	夫+妻で500-600万円未満。非同居の両親等の収入を含めた可能性。
高年		R18	11	9999	義母の収入が不明であるが、選択肢を右に間違えたかと見るほうが妥当
壮年		R18	13	9999	夫+妻で300-400万円未満。選択肢を右に間違えた可能性。
若年		R18	17	9999	夫(700万円台)の収入のみしかない。選択肢を右に間違えた可能性。
壮年		R18	19	9999	夫(800-999万円台)の収入のみしかない。選択肢を右に間違えた可能性。
壮年		R18	12	9999	同居敷地内の別棟居住の父親の収入を含めている可能性があるが、家族成員にはその父親は含まれていないため、NAとする
壮年		R18	10	9999	夫+妻で200-300万円未満。非同居の子どもなどの収入を含めている可能性。
壮年		R18	19	9999	夫+妻で200-300万円未満。書き間違いか
壮年		R1SRM_01G	3	9999	対象から昭和につけかえられているので、本人の父母が大正10年生まれなので、それより10歳若い(大正20年⇒昭和7年)ということ？
壮年		R1SRM_01G	3	9999	義父母のどちらかが再婚としても若すぎる。
壮年		R1SRM_01G	3	9999	義父母のどちらかが再婚としても若すぎる。
壮年		R1SRM_01G	3	9999	配偶者が、義父15歳、義母11歳のときの子になるため
若年		R20	5	9999	5人の内容不明
壮年		R20	2	1	Q7では配偶者なしなので。
壮年		R20	4	3	第2子が別居のため
壮年		R20	7	8	上記修正により、人数1人増える
若年		R20S1_02	1	0	Q7では配偶者なしなので。
壮年		R20S1_02	1	0	Q7では配偶者なしなので。
若年		R20S1_02	1	0	妻ではなく婚約者
壮年		R20S1_10	0	1	兄弟姉妹が同居
若年		R20S1_19	0	1	妻ではなく婚約者
壮年		R20S2	3	2	子どもは在学中の24歳、夫が52歳自営業のため、夫が世帯主と考えられる
若年		R20S2	3	2	子どもは4歳、0歳で、世帯主とは考えにくい。書き間違えで、夫が世帯主とみられる。
高年		R3_1	7	2	中卒⇒准看⇒高等看護学校卒とする
壮年		R3_2A	16	9999	16歳では高卒後の専門学校に該当しない
高年		R3_2A	17	9999	17歳では高卒後の専門学校に該当しない
高年		R3_2Y	60	50	32歳で卒業とする。30歳で結婚・短大入学と考える。
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
壮年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
壮年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
壮年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
壮年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
壮年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
壮年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
壮年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
壮年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
壮年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
若年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居
壮年		R4	3	1	実の両親とも健在で別居

データの修正箇所一覧

調査票	ID	データ上の変数名	修正前値	修正後値	備考
壮年		R4S1A	16	9999	上との関連で答えているため
若年		R4S1A	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1A	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1A	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1A	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1A	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1A	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1A	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1A	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1A	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1A	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1A	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1G	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1M	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
壮年		R4S1Y	8888	9999	上記修正を反映
若年		R4S1Y	42	9999	S31生のため、42年では11歳
若年		R4S1Y	1	9999	01年では12歳、就職で離家はない
高年		R5	4	9999	本人73歳、総合的にみて夫婦とも一度も仕事についていたことはないというのはおかしい
高年		R5	4	9999	本人67歳、現在仕事についていないことと勘違いとみられる。子どもあり
壮年		R5S1	1	2	神社経営のため
壮年		R5S2	4	5	警備業は5技能・労務・作業
壮年		R5S2	7	1	神社経営のため
高年		R5S2	1	5	パートのドライバー。専門管理ではなく、技能に。
高年		R5S3	3	9999	農協・漁協に属する人数を記入しているとみられる
壮年		R5S3	4	1	クリーニングチェーン全体の人数を回答しているため修正
壮年		R5S5H	20	2	2時間の誤り
壮年		R5S6H	0	8	元は80時間でNAにされていた。桁違いで8時間とする。
高年		R5S8_1A	6	9999	学生のうちのアルバイト
高年		R5S8_1A	12	9999	学生のうちのアルバイト
高年		R5S8_1A	13	9999	学生のうちのアルバイト
高年		R5S8_1A	14	9999	学生のうちのアルバイト
高年		R5S8_1G	3	9999	学生のうちのアルバイト
高年		R5S8_1G	3	9999	学生のうちのアルバイト
高年		R5S8_1G	3	9999	学生のうちのアルバイト
高年		R5S8_1G	3	9999	学生のうちのアルバイト

データの修正箇所一覧

調査票	ID	データ上の変数名	修正前値	修正後値	備考
高年		R7S7	4	3	夫婦とも一度も仕事についたことがなく、子どもが二人いるのは不自然。SQ8、9に回答があるため、過去に仕事についていたとみられる。
高年		R7S7	4	9999	年収900万円であるのに、仕事なしは不自然。何らかの形で就労していたとみられる。
高年		R7S7	4	9999	夫74歳、年収500万円。過去に仕事についていたとみられる
高年		R7S7	4	9999	夫72歳、年収100万円未満。過去に仕事についていたとみられる。
高年		R7S7	4	9999	夫71歳、年収100万円未満。過去に仕事についていたとみられる。

自由回答アフターコーディング結果

調査票	ID	変数名	修正前値	修正後値	内容	アフターコーディング
若年		R13S4_06	1	0	産休後、会社の都合により退社	1.仕事をやめた
		R13S4_01	0	1		
若年		R13S4_06	1	0	家業手伝い	5.仕事上の変化はなかった
		R13S4_05	0	1		
若年		R13S4_06	1	0	急な欠勤の為、事実上解雇。	1.仕事をやめた
		R13S4_01	0	1		
若年		R13S4_06	1	0	妊娠がわかった時が、期限があったので(仕事に)、期限内は働いた。	1.仕事をやめた
		R13S4_01	0	1		
若年		R14F_02	7	4	短大・高専	1.中学校
若年		R14F_02	7	2	海員学校	2.高校
若年		R14M_02	7	1	中学卒業後、看護学校	1.中学校
若年		R14M_02	7	1	中卒後専門学校	1.中学校
若年		R14M_02	7	1	家庭の理由で入学していない	1.中学校
若年		R14M_02	7	1	中学卒業後、洋裁学校	1.中学校
若年		R19	6	7	親の持ち家	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	7	妻の父親の持ち家	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	7	配偶者の実家	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	7	親の家	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	8	義兄所有のマンション	8親族名義の集合住宅
若年		R19	6	4	賃貸一戸建て	4.民間の借家または賃貸アパート
若年		R19	6	7	親の家	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	7	義父の所有	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	7	義父の持家(義父とは別居)	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	2	経営するアパートのオーナー住居部分	2.持ち家(集合住宅)
若年		R19	6	1	店	1.持ち家(一戸建て)
若年		R19	6	7	配偶者の祖父	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	7	親の持ち家	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	7	家族の持家	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	7	親の家	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	7	配偶者の姉の持ち家	7親族名義の一戸建て
若年		R19	6	1	借地	1.持ち家(一戸建て)
若年		R19	6	7	妻の実家	7親族名義の一戸建て
若年		R20S1_18	1	0	姉の配偶者	18その他の親族
		R20S1_20	0	1		20.兄弟姉妹の配偶者
若年		R20S1_18	1	0	兄の嫁	18その他の親族
		R20S1_20	0	1		20.兄弟姉妹の配偶者
若年		R20S1_18	1	0	兄の配偶者	18その他の親族
		R20S1_20	0	1		20.兄弟姉妹の配偶者
若年		R20S1_18	1	0	兄の配偶者	18その他の親族
		R20S1_20	0	1		20.兄弟姉妹の配偶者
若年		R20S1_18	1	0	弟の配偶者	18その他の親族
		R20S1_20	0	1		20.兄弟姉妹の配偶者
若年		R20S1_18	1	0	義兄	18その他の親族
		R20S1_20	0	1		20.兄弟姉妹の配偶者
若年		R3_1	7	1	専門学校(中卒)	1.中学校
若年		R3_1	7	1	専門学校(中卒)	1.中学校
若年		R3_1	7	3	語学学校(留学)	7.その他
若年		R3_1	7	1	専門学校(中卒後)	1.中学校
若年		R3_1	7	1	専門学校	7.その他
若年		R3_1	7	1	専門学校(中卒後)	1.中学校
若年		R3_1	7	3	インターナショナルスクールのE.L.S(英語科)	7.その他
若年		R3_1	7	4	米国コミュニティカレッジ	4.短大・高専
若年		R3_1	7	1	専門学校(中卒後)	1.中学校
若年		R3_1	7	2	養護学校高等部	2.高校
若年		R4S2	6	7	自立の為	7.自立
若年		R4S2	6	7	20になったから	7.自立
若年		R4S2	6	7	独立したかった	7.自立
若年		R4S2	6	7	親の提案	7.自立
若年		R4S2	6	7	就職して1年経った為	7.自立
若年		R4S2	6	7	自活してみたかった	7.自立
若年		R4S2	6	7	マンション購入	7.自立

自由回答アフターコーディング結果

調査票	ID	変数名	修正前値	修正後値	内容	アフターコーディング
若年		R4S2	6	8	通勤の都合上	8.通勤
若年		R4S2	6	7	自立したかったため	7.自立
若年		R4S2	6	2	僧侶になる為の修行	2.就職
若年		R4S2	6	7	1人ぐらしがしたかった。部屋の広さ等。	7.自立
若年		R4S2	6	8	残業のため	8.通勤
若年		R4S2	6	5	親が病気で倒れた	5.親の都合
若年		R4S2	6	7	自立したかった	7.自立
若年		R4S2	6	7	家を作った為	7.自立
若年		R4S2	6	2	酪農実習生として	2.就職
若年		R4S2	6	8	親に借金を返済したし、通勤が遠かったため。	8.通勤
若年		R4S2	6	5	養護施設	5.親の都合
若年		R4S2	6	7	自立	7.自立
若年		R4S2	6	4	結婚時は同居、その後別居。	4.結婚
若年		R4S2	6	7	自分の意志	7.自立
若年		R4S2	6	7	1人暮らしをしたかったから	7.自立
若年		R4S2	6	7	自立したかった	7.自立
若年		R4S2	6	7	親とはなれたかった	7.自立
若年		R4S2	6	7	自立して生活してみたいと思っ	7.自立
若年		R4S2	6	7	一人暮らししたかったから	7.自立
若年		R4S2	6	7	家を建てたので	7.自立
若年		R4S2	6	7	家にあいてる所がなくなった。	7.自立
若年		R4S2	6	7	自立	7.自立
若年		R4S2	6	7	してみたかった	7.自立
若年		R4S2	6	7	親からの独立	7.自立
若年		R4S2	6	7	一人暮らししたかったから	7.自立
若年		R4S2	6	7	独り暮らししたかったから	7.自立
若年		R4S2	6	7	住宅を買う	7.自立
若年		R4S2	6	8	通勤時間の短縮	8.通勤
若年		R4S2	6	7	住宅購入	7.自立
若年		R4S2	6	7	自分自身の社会勉強の為	7.自立
若年		R4S2	6	8	職場に近い所	8.通勤
若年		R4S2	6	8	通勤	8.通勤
若年		R4S2	6	2	就職先の研修	2.就職
若年		R4S2	6	7	自分の働いたお金で一人で生活してみたかった	7.自立
若年		R4S2	6	7	自立したかった	7.自立
若年		R4S2	6	7	1人暮らしがしたかった	7.自立
若年		R4S2	6	7	一人暮らしをしてみたかった	7.自立
若年		R4S2	6	7	仕事もなれて1人暮らししてみようという気になった	7.自立
若年		R4S2	6	7	独立したかった為	7.自立
若年		R5S2	7	1	スポーツトレーナー	1.専門・技術系
若年		R5S2	7	5	警備会社	5.技能・労務・作業系
若年		R5S2	7	1	キッズスクール 補助指導員	1.専門・技術系
若年		R5S2	7	5	物流業	5.技能・労務・作業系
若年		R5S2	7	5	警備	5.技能・労務・作業系
若年		R5S2	7	1	役者	1.専門・技術系
若年		R5S2	7	5	倉庫商品管理・発送業	5.技能・労務・作業系
若年		R5S2	7	3	薬剤師助手	3.事務・営業系
若年		R5S2	7	5	電気・通信	5.技能・労務・作業系
若年		R7S2_05	1	0	妊娠していた為、結婚して1年後に退社	4.仕事上の変化なし
		R7S2_04	0	1		
若年		R7S2_05	1	0	出産の為に休職後やめました。	4.仕事上の変化なし
		R7S2_04	0	1		
若年		R7S2_05	1	0	結婚後ケガで転職	4.仕事上の変化なし
		R7S2_04	0	1		
若年		R7S2_05	1	0	当時主人は、H市在住。私は主人とは別の会社で、T市で仕事をしていて。結婚により、特別にH支店に転勤させて頂いたが、H8.2に主人がK市に異動になり。やむを得ず、私がH8.3に退職。	3.同じ職場で業務・職種変化

自由回答アフターコーディング結果

調査票	ID	変数名	修正前値	修正後値	内容	アフターコーディング
		R7S2_03	0	1		
若年		R7S2_05	1	0	妊娠の為、職場には育児休を申し込んだが、嫌味を言われたり、出産して2週間で働くようにと言われ退職。	4.仕事上の変化なし
		R7S2_03	0	1		
若年		R7S6	7	2	看護学校	2.高校
若年		R7S6	7	1	中卒後専門学校	1.中学校
若年		R7S6	7	1	准看護婦学校	1.中学校
若年		R7S6	7	1	専門学校(中卒後)	1.中学校
若年		R7S6	7	1	中卒後専門学校(調理)	1.中学校
若年		R7S6	7	1	中卒後専門学校	1.中学校
若年		R7S6	7	2	看護学校	2.高校
若年		R7S9	7	4	法事等の準備	4.販売・サービス
若年		R7S9	7	1	福祉施設職員	1.専門・技術系
若年		R7S9	7	4	食品流通関係	4.販売・サービス
若年		R7S9	7	3	団体職員	3.事務・営業系
壮年		R13S4_06	1	0		非選択に
壮年		R13S4_06	1	0	農業	5.仕事上の変化はなかった
		R13S4_05	0	1		
壮年		R13S4_00	0	8888	養子	8888.非該当
		R13S4_01	0	8888		
		R13S4_02	0	8888		
		R13S4_03	0	8888		
		R13S4_04	0	8888		
		R13S4_05	0	8888		
		R13S4_06	1	8888		
壮年		R13S4_06	1	0		非選択に
壮年		R13S4_06	1	0	自営業 家電	5.仕事上の変化はなかった
		R13S4_05	0	1		
壮年		R13S4_06	1	0	パートを休業した	1.仕事をやめた
		R13S4_01	0	1		
壮年		R13S4_00	0	8888	3人養子です。	8888.非該当
		R13S4_01	0	8888		
		R13S4_02	0	8888		
		R13S4_03	0	8888		
		R13S4_04	0	8888		
		R13S4_05	0	8888		
		R13S4_06	1	8888		
壮年		R13S4_00	0	8888	養子もらったので出産はしていない	8888.非該当
		R13S4_01	0	8888		
		R13S4_02	0	8888		
		R13S4_03	0	8888		
		R13S4_04	0	8888		
		R13S4_05	0	8888		
		R13S4_06	1	8888		
壮年		R13S4_06	1	0	自営	5.仕事上の変化はなかった
		R13S4_05	0	1		
壮年		R13S4_06	1	0	タイミング良く、仕事の契約が終了した。	1.仕事をやめた
		R13S4_01	0	1		
壮年		R14F_02	7	4	海軍兵学校	4.短大・高専
壮年		R14F_02	7	4	海軍兵学校	4.短大・高専
壮年		R14F_02	7	4	陸軍航空隊	4.短大・高専
壮年		R14M_02	7	1	中学卒後、専門学校へ	1.中学校
壮年		R19	6	1	自社ビル	1.持ち家(一戸建て)
壮年		R19	6	7	妻自家	7親族名義の一戸建て
壮年		R19	6	7	義父持ち家	7親族名義の一戸建て
壮年		R19	6	7	三世代住宅	7親族名義の一戸建て
壮年		R19	6	7	親の家	7親族名義の一戸建て

自由回答アフターコーディング結果

調査票	ID	変数名	修正前値	修正後値	内容	アフターコーディング
壮年		R19	6	7	実家	7親族名義の一戸建て
壮年		R19	6	7	父母名義の持ち家	7親族名義の一戸建て
壮年		R19	6	7	家族の持ち家	7親族名義の一戸建て
壮年		R19	6	1	持ち家借地	1.持ち家(一戸建て)
壮年		R19	6	7	兄の持ち家	7親族名義の一戸建て
壮年		R19	6	7	父の持ち家	7親族名義の一戸建て
壮年		R19	6	5	法人の代表役員専用住宅	5.社宅
壮年		R19	6	5	寺院(庫裏)	5.社宅
壮年		R19	6	7	親の持ち家	7親族名義の一戸建て
壮年		R19	6	7	親の家	7親族名義の一戸建て
壮年		R20S1_18	1	0	兄嫁	18その他の親族
		R20S1_20	0	1		20.兄弟姉妹の配偶者
壮年		R3_1	7	1	准看護師学校	1.中学校
壮年		R3_1	7	1	専門学校(中卒)	1.中学校
壮年		R3_1	7	1	美容専門 中卒後	1.中学校
壮年		R3_1	7	1	中学校卒業後専門校	1.中学校
壮年		R3_1	7	2	神官養成学校	2.高校
壮年		R3_1	7	1	専門学校中卒後	1.中学校
壮年		R3_1	7	1	夜間の看護学校	7.その他
壮年		R3_1	7	1	専門学校(中卒後)2年間	1.中学校
壮年		R3_1	7	1	中学校卒業後専門学校	1.中学校
壮年		R3_1	7	1	中卒後家業を手伝うが転居により専門学校に入学	1.中学校
壮年		R3_1	7	2	看護学校	2.高校
壮年		R3_1	7	1	中卒後准看護学校	1.中学校
壮年		R3_1	7	1	小学校	1.中学校
壮年		R3_1	7	1	中卒後美容学校	1.中学校
壮年		R3_1	7	2	看護学校	2.高校
壮年		R3_1	7	1	専門学校(中卒)	1.中学校
壮年		R3_1	7	1	准看護学校	1.中学校
壮年		R3_1	7	2	海員学校	2.高校
壮年		R4S2	6	7	自分だけでやってみなかった為	7.自立
壮年		R4S2	6	2	起業	2.就職
壮年		R4S2	6	7	自炊の為	7.自立
壮年		R4S2	6	7	若かったため	7.自立
壮年		R4S2	6	7	年齢(30歳)的に自立すべき	7.自立
壮年		R4S2	6	7	仕事は安定し、頑張っていたが、結婚する気もないし、親からもっと自立したかったから、普通車の免許を取得し、気力が出た。一軒家の生活つづけ、世の中にはマンション・アパート暮らしの人多い。それはどういう感覚か！知りたかった。物が多い→縮小。換気の問題、借家のつきあい方等。	7.自立
壮年		R4S2	6	7	一人暮らしがしたかった	7.自立
壮年		R4S2	6	1	進学(夜間)と就職同時	1.進学・学業・通学
壮年		R4S2	6	7	家を出て、自分の目的の為に生活する方を選んだ	7.自立
壮年		R4S2	6	5	親の死去のため	5.親の都合
壮年		R4S2	6	8	通勤に不便だったから	8.通勤
壮年		R4S2	6	7	経済的自立	7.自立
壮年		R4S2	6	7	1人暮らしがしたかった	7.自立
壮年		R4S2	6	6	独立要求	6.その他
壮年		R4S2	6	1	定時制高校に進学。昼は就業。	1.進学・学業・通学
壮年		R4S2	6	1	交換学生	1.進学・学業・通学
壮年		R4S2	6	8	帰宅時間の問題	8.通勤
壮年		R4S2	6	4	妻の両親と同居	4.結婚
壮年		R4S2	6	7	自己都合	7.自立
壮年		R4S2	6	7	親からの自立	7.自立
壮年		R4S2	6	7	会社の近くにマンションを購入	7.自立
壮年		R4S2	6	2	畜産研修所	2.就職
壮年		R4S2	6	7	成人	7.自立
壮年		R4S2	6	1	就職し、夜学(専門学校)に通い始めたから	1.進学・学業・通学
壮年		R4S2	6	1	浪人するため	1.進学・学業・通学
壮年		R5S2	7	3	学校職員	3.事務・営業系
壮年		R5S2	7	5	石材業	5.技能・労務・作業系

自由回答アフターコーディング結果

調査票	ID	変数名	修正前値	修正後値	内容	アフターコーディング
壮年		R5S2	7	4	ネットワークビジネス	4.販売・サービス
壮年		R5S2	7	3	税務職員	3.事務・営業系
壮年		R5S2	7	1	知的障害者更生施設	1.専門・技術系
壮年		R5S2	7	5	警備会社パート 半年間だけ	5.技能・労務・作業系
壮年		R5S2	7	1	看護	1.専門・技術系
壮年		R5S2	7	5	鉄工業	5.技能・労務・作業系
壮年		R5S2	7	5	縫製会社	5.技能・労務・作業系
壮年		R5S2	7	5	港湾運送事業	5.技能・労務・作業系
壮年		R5S2	7	5	工務店	5.技能・労務・作業系
壮年		R5S2	7	1	神社経営、代表役員	1.専門・技術系
壮年		R5S2	7	4	お手伝い	4.販売・サービス
壮年		R5S2	7	4	ペット用品関係	4.販売・サービス
壮年		R5S2	7	1	福祉施設職員	1.専門・技術系
壮年		R5S2	7	1	教育系	1.専門・技術系
壮年		R5S2	7	3	団体職員	3.事務・営業系
壮年		R7S2_05	1	0	その後すぐに仕事を始めた	2.転職した
		R7S2_02	0	1		
壮年		R7S2_05	1	0	結婚してから仕事をし、出産でやめた。	4.仕事上の変化なし
		R7S2_04	0	1		
壮年		R7S6	7	1	中学卒業後、専門学校	1.中学校
壮年		R7S6	7	1	中卒後、専門学校	1.中学校
壮年		R7S6	7	1	中学卒業後、看護専門学校	1.中学校
壮年		R7S9	7	4	不動産賃貸業	4.販売・サービス
壮年		R7S9	7	5	製造業	5.技能・労務・作業系
壮年		R7S9	7	1	宗教家	1.専門・技術系
壮年		R7S9	7	3	取次業	3.事務・営業系
壮年		R7S9	7	1	障害者施設	1.専門・技術系
壮年		R7S9	7	5	業務員	5.技能・労務・作業系
壮年		R7S9	7	5	水道業	5.技能・労務・作業系
壮年		R7S9	7	5	警備会社	5.技能・労務・作業系
壮年		R7S9	7	5	物流関係	5.技能・労務・作業系
壮年		R7S9	7	2	経営者	2.管理的
壮年		R7S9	7	3	団体職員	3.事務・営業系
高年		R14F_02	7	1	学校に入っていない。	1.中学校
高年		R14M_02	7	1	行かなかった	1.中学校
高年		R14M_02	7	1	学校へ行っていない	1.中学校
高年		R19	6	5	寺院の庫裡	5.社宅
高年		R19	6	5	キリスト教会	5.社宅
高年		R3_1	7	1	医師会立准看護学院	1.中学校
高年		R3_1	7	1	中学卒業後洋裁学校卒業	1.中学校
高年		R3_1	7	1	気仙沼准看護学院	1.中学校
高年		R3_1	7	1	中学校卒業後看護学校	1.中学校
高年		R3_1	7	1	高等商業専修学校	1.中学
高年		R3_1	7	1	在学期間なし	1.中学校
高年		R3_1	7	1	専門学校(中卒後)	1.中学校
高年		R3_1	7	1	国立S療養所附属准看護学院	1.中学校
高年		R3_1	7	1	専門学校(中卒後)	1.中学校
高年		R3_1	7	1	専門学校(中卒後)	1.中学校
高年		R3_1	7	1	専門学校(中卒後)	1.中学校
高年		R3_1	7	1	中学校卒業後、洋裁学院	1.中学校
高年		R3_1	7	1	中卒後専門学校	1.中学校
高年		R3_1	7	2	中卒→准看→高看卒	2.高校
高年		R5S2	7	4	坊守=住職の妻	4.販売・サービス
高年		R5S2	7	1	保育園非常勤	1.専門・技術系
高年		R5S2	7	5	土木	5.技能・労務・作業系
高年		R5S2	7	5	海運業	5.技能・労務・作業系
高年		R5S2	7	5	海運業	5.技能・労務・作業系
高年		R7S6	7	2	看護学校	2.高校
高年		R7S9	7	5	海運業	5.技能・労務・作業系
高年		R7S9	7	3	大学の研究室	3.事務・営業系
高年		R7S9	7	3	郵便局員	3.事務・営業系
高年		R7S9	7	5	土方	5.技能・労務・作業系

個人情報保護関連

個人情報保護の基本方針について

日本家族社会学会全国家族調査委員会および第3回全国家族調査実行委員会では、第3回全国家族調査（以下「本調査」といいます）の実施に際して、基本的人権を尊重し、個人情報の保護に関する法令、規範を遵守することに努めます。

本調査の遂行にあたって、「個人情報保護の方針」を下記のように定め、関与する学会員および業務委託法人等、プロジェクトに関わるすべての個人・法人に、その周知徹底をはかります。

個人情報保護の基本方針

1. 個人情報保護に関する法令・規範の遵守

個人情報の収集・取扱いにあたっては、個人情報の取扱いに関する法令や国が定める指針を遵守します。また、日本家族社会学会が定める倫理宣言をはじめ、研究メンバーが参加する学術研究団体の規範を遵守いたします。

2. 調査実施にあたっての個人情報の利用目的

個人情報は、本調査の遂行のために利用し、それ以外の目的には利用しません。

3. 収集・保有する個人情報の種類

収集・保有する個人情報は、氏名・住所・生年月日・性別、本調査の目的を達成するために必要な最低限の個人情報です。

4. 個人情報の提供

次の場合を除いて、個人情報を外部に提供することはありません。

- (1) 御本人が同意されている場合
- (2) 本調査の遂行に際して、利用目的の達成に必要な範囲内で委託を行う場合
- (3) 法令に基づく場合
- (4) その他「個人情報の保護に関する法律」に基づき提供が認められている場合

5. 個人情報の保護管理

個人情報は、適切に管理するよう務め、個人情報を保護するため組織的安全管理措置、人的安全管理措置、技術的安全管理措置を講じます。

実査を委託する調査会社と連携して業務を行うさいには、調査会社の個人情報保護の基本方針を確認し、調査会社との間で個人情報保護に関する契約を締結したうえで、個人情報保護が徹底して行われるよう監督します。

特に調査対象者の個人情報の保護について、以下の措置をもって安全対策を徹底します。

- (1) 本調査における個人情報は、氏名・住所・生年月日等です。この個人情報は対象者名簿という形で、実査を委託する調査会社が厳重に管理し、外部に開示することはありません。また本調査以外の目的のために全国家族調査委員会・同実行委員会メンバーに開示することはありません。

- (2) 調査票の原票には、氏名、生年月日、住所等、個人が特定される情報は含まれません。
- (3) 全国家族調査委員会・同実行委員会メンバーや一般研究者に提供する数値データは、氏名、生年月日、住所等の情報を削除したものとし、回答者個人の特定が不可能なものとしします。
- (4) 調査結果は数値データとして公表し、特定の個人が回答した結果はわからないようにします。

6. 個人情報の開示、訂正等のご請求

個人情報についての開示、訂正等のご依頼があった場合は、請求者が御本人であることを確認させていただいたうえで、調査の適正な実施に著しい支障をきたすなど特別な理由のない限り、対応いたします。

7. 個人情報保護方針の見直し

本方針は、適切な個人情報保護を実施するため、継続的に見直します。

以上

個人情報の取り扱いに関するお問い合わせ

個人情報の取り扱いに関するお問い合わせおよびお申し出については、適切に対応させていただきますので、下記窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

日本家族社会学会第3回全国家族調査実行委員会事務局 個人情報管理担当

電話番号 ****-*****

(電話対応可能な時間帯) ****-*****

(対象者配布用)

「第3回家族についての全国調査」における個人情報の保護

「第3回家族についての全国調査」(以下「本調査」)では、調査に回答していただく皆様の個人情報について、以下の方法で保護に努めています。

1 ご回答いただいた結果は学術目的のみに利用します。

本調査は、家族研究に利用できる統計的なデータを作成することを目的としています。このデータは、その使用許可を得た研究者が学術目的でのみ利用します。

2 個人の回答結果が第三者に伝わることはありません。

回答いただいた内容は、氏名・住所等個人を特定できる情報を含まない数値データに変換します。調査結果は「〇〇と回答した人が△△%」というような数値として公表します。特定の個人の回答結果が第三者に伝わることはありません。

3 調査会社と個人情報保護に関する契約を結び、徹底した管理を監督しています。

本調査の実施にあたり、(社)中央調査社と業務委託契約を結んでいます。(社)中央調査社は、適切な個人情報保護の方針を定めた法人であり、契約にあたっては個人情報の保護に関する契約を別途締結しています。

4 調査実施にあたっての個人情報は厳重に管理します。

住所・氏名・生年月日等、個人を特定できる情報は、実査を委託する(社)中央調査社のみが保有し、厳重に管理しています。またそれらの個人情報は、ご本人の同意を得た場合等を除き、第三者へ提供することはありません。

5 個人情報の取り扱いについてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

上記のとおり調査にご回答いただく皆様の個人情報保護について慎重に対応しておりますが、個人情報についての開示、訂正等のご依頼やご質問があれば、第3回全国家族調査実行委員会事務局個人情報管理担当(電話番号 ****-****)までご連絡ください。

平成21年1月
日本家族社会学会全国家族調査委員会
第3回全国家族調査実行委員会

訪問記録票・欠票調査票

第 3 回 家族についての全国調査

平成 21 年 1 月
 (調査企画) 日本家族社会学会
 (調査実施) (社) 中央調査社

支局番号		地点番号			対象番号		調査員番号			点検者

[訪 問 記 録]

【訪問日・時刻・接触相手】

	訪問日 (曜日)	訪問時刻 (24 時間制)	話をした人 (MA)			
			本人	家族	の 人 の 他	不在
1	月 日 ()	時 分ごろ	1	2	3	4
2	月 日 ()	時 分ごろ	1	2	3	4
3	月 日 ()	時 分ごろ	1	2	3	4
4	月 日 ()	時 分ごろ	1	2	3	4
5	月 日 ()	時 分ごろ	1	2	3	4
6	月 日 ()	時 分ごろ	1	2	3	4
7	月 日 ()	時 分ごろ	1	2	3	4
8	月 日 ()	時 分ごろ	1	2	3	4
9	月 日 ()	時 分ごろ	1	2	3	4
10	月 日 ()	時 分ごろ	1	2	3	4

※11 回以上訪問をした場合は、10 回目までの訪問記録を上表に記入し、下の表に最終訪問日・時刻・接触相手を記入してください。

最終 訪問日	月 日 ()	時 分ごろ	1	2	3	4
-----------	---------	-------	---	---	---	---

【訪問回数】

合計 回

【対象者の家の種類】

- 1 一戸建て
- 2 集合住宅（アパート・マンションなど）：玄関はオートロックでない
- 3 集合住宅（アパート・マンションなど）：玄関がオートロック
- 4 不明

【完了/欠票の区別・回収方法】

- 1 完了（調査票をそのまま、あるいは開封した封筒に入れて渡された）
 - 2 完了（調査票を密封した封筒に入れて渡された）
 - 3 返信用封筒を渡して、郵送返送を依頼した
 - 4 欠票
- （おわり）
- （下の欠票調査票を作成する）

〔 欠 票 調 査 票 〕

【対象者性別】（名簿）

- 1 男性
- 2 女性

【対象者生年月】（名簿）

昭和 年 月 生まれ

【欠票を決定した際の状況】

- 1 対面で話した
- 2 インターフォンなどで話した
- 3 事前の連絡により欠票
- 4 挨拶状が「宛先不明」などで不達
- 5 その他

【調査票を渡したか】

- 1 渡した
- 2 渡していない

【欠票理由】

【具体的に】

- 1 転居
- 2 入院・入所中
- 3 長期不在
- 4 一時不在
- 5 死亡
- 6 健康状態に問題あり（病気、けが、聴力言語障害、痴呆など）
- 7 拒否
- 8 住所不明
- 9 年齢が対象外
- 10 その他

執筆者

- 嶋崎尚子（早稲田大学文学学術院教授）
稲葉昭英（首都大学東京人文科学研究科准教授）
田中慶子（家計経済研究所研究員）
田中重人（東北大学文学研究科准教授）
永井暁子（日本女子大学人間社会学部准教授）
鈴木富美子（淑徳大学総合福祉学部講師）
西野理子（東洋大学社会学部准教授）
澤口恵一（大正大学人間学部准教授）
品田知美（立教大学コミュニティ福祉学部講師）
土倉玲子（北海道文教大学外国学部講師）
島 直子（明治学院大学社会学部講師）
西村純子（明星大学人文学部准教授）
田淵六郎（上智大学総合人間科学部准教授）
筒井淳也（立命館大学産業社会学部准教授）
松信ひろみ（駒澤大学文学部准教授）
福田亘孝（青山学院大学社会情報学部教授）
金 貞任（東京福祉大学社会福祉学部教授）
保田時男（大阪商業大学総合経営学部准教授）
施 利平（明治大学情報コミュニケーション学部准教授）
井田瑞江（関東学院大学文学部准教授）
松田茂樹（第一生命経済研究所ライフデザイン研究本部 主任研究員）

第3回 家族についての全国調査 (NFRJ08)
第一次報告書

2010年4月発行

発行：日本家族社会学会・全国家族調査 (NFRJ) 委員会
〒112-8606 文京区白山 5-28-20
東洋大学社会学部西野研究室 (事務局)
